

新潟県立新津高等学校 グランドデザイン  
(目指す学校づくり) 校長 小林 英明

校訓 学ぶは高き人の道

教育目標

- 1 真理を求め、創造性豊かな英知を持った人間の育成
- 2 良識を持ち、自律的に行動できる勇氣ある人間の育成
- 3 公共心に富み、情操豊かで健康な人間の育成

主体的な学び・探究的な学び → 大学進学を重視した学究型の高校

生徒の力を徹底して伸ばす学校

☆計画的な進路探究活動を通じた進路目標の明確化

- ・自己実現を目指す進路探究と、社会に貢献する態度の育成
- ・生涯にわたって学び続ける態度の育成

☆進路目標達成のための学力向上

- ・学習習慣の確立と基礎学力の向上を重視したうえで、主体的な学びへの転換
- ・国公立大学80人以上、難関大学10人以上の合格を目標とする

☆基本的生活習慣の確立

- ・当たり前のことが自然にできる生徒の育成
- ・勉強と部活動の両立、学校行事への積極的な取組

☆インクルーシブ教育の推進

- ・多様な人と共に学び合い、だれもが学習活動を充実させられる取組
- ・個人の価値を尊重する態度や、自他の敬愛と協力を重んずる態度の育成

生徒の主体的な学びを支援する教師の役割と環境整備

☆ICT環境を最大限に活用した学びの改善

- ・電子黒板とタブレットの活用による表現する力の育成と協働的な学び
- ・オンライン学習教材等の活用や、オンラインでの校外・海外との交流

☆指導と評価の一体化と個別最適な学び

- ・観点別学習評価を指導の改善、学びの改善に生かす
- ・発展学習に対応するとともに、だれ一人取り残さない個別最適な学びの実現

☆教員が明るく協調性を保って勤務し力量を高める学校

- ・コミュニケーションの充実と職員研修の充実により同僚性を高める
- ・長時間勤務の防止に向けた取組と、部活動等の効率的な実施

☆特別支援教育の充実といじめ防止等の取組

- ・生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、適切な指導や必要な支援を行う
- ・いじめ防止、いじめ対応の組織的な取組と、保護者等との連携

特色化の取組と情報発信 → 高い志を持つ志願者の増加

☆地域や大学等との交流を通じた学びの改善

- ・地域や大学等との連携を強化し、外部の人から直接学ぶ
- ・活躍する大人と関わり、協働的に学んで、社会性を培う

☆地域のセンター的な役割

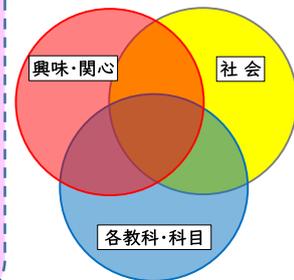
- ・校種を越えた交流や授業改善・学力向上の中心校となる
- ・志願者数増加に向けた特色化・魅力化

☆特色を広く情報発信

- ・保護者や地域への広報とホームページでの情報発信
- ・新聞やテレビで数多く報道してもらう

Climb Up プラン

- ・3年間を見通した総合的な探究の時間の体系化
- ・探究の手法の習得と課題研究の充実
- ・総合探究と各教科・科目の関連性重視



Final Goal

意欲的に自分の夢を育み、その実現に向け確かな学力を身に付け、国際的な視野を備えた、社会に貢献できる人間の育成を目指す。